



令和7年度 紀美野町立小川小学校 スクールプラン

紀美野町 教育の基本目標

子どもが輝き 大人が学び続け
心豊かに生きる教育の町
かなえたい夢を持ち
新しい自分を発見し
挑戦する心を育成する

保護者と地域の願い

○学力の定着を目指してほしい。
○明るく楽しい学校にしてほしい。
○地域の関わりを深めてほしい。

【学校教育目標】

しっかり動き、じっくり学び、みんなで育つ

めざす児童像

- | | |
|----------|------------------|
| おもいを伝える子 | ◇健やかに安全な生活を送る子ども |
| がんばる子 | ◇意欲的に自ら学ぶ子ども |
| わかり合える子 | ◇思いやりのある心豊かな子ども |

前年度の学校評価

- 個に応じた授業改善や、フリートークなどの取り組みが進んでいる。
- 保護者が学校目標を概ね理解し、協力をしてくれている。
- 地域との連携がとれている。

児童の実態

- 明るく素直である。
- 異年齢交流が盛んである。
- 前向きに学校行事に取り組める。
- 掃除や作業などをすすんとする。

重点目標

- 基本的な生活態度や自己管理意識の定着
- 体力や運動能力の向上
- 危険回避能力の育成

具体的目標

- 『早寝・早起き・朝ご飯』を推奨する。
- 朝のトレーニング、きのくにチャレジランキングの充実を進める。
- メディアの適切利用を推進する。
- 避難訓練等を計画的に実施し、危険回避能力を育む。

指標目標

- ・体力や運動する力が身についてきた。 (児童 80 %)
- ・アウトメディア「デー」・「タイム」を設定し、取り組めた。 (児童 80 %)

じっくり学び

- 授業における研究の推進
- 複式指導・個別学習の充実
- 家庭学習の定着
- 読書活動の定着

みんなで育つ

- 自己肯定感や帰属意識の醸成
- 体験活動や交流学習の充実
- 道徳・人権活動の充実

地域との連携

- 家庭や地域とのつながりと学校評価の活用
- 幼小中の連携の推進
- 地域との交流・資源の推進

- 複式授業の工夫・改善を進め、児童が主体的に活動する授業を目指す。
- 児童の対話的な活動を進めため、『フリートーク活動』の質的向上を図る。
- 家庭と協力して、『家庭学習の手引き』の活用を図る。
- アウトメディア「デー」・「タイム」を設定し、「家読」を推進する。

- 縦割り班活動を通して、異年齢児童が関わる機会を増やす。
- Q-U を活用し、個人が全員から認められる集団作りに努める。
- 情報モラルの学ぶ機会をもち、ネット社会に対応する力を育てる。
- 『特別な教科道徳』の充実を図る。

- 学校便り等を活用して積極的に情報の発信を行う。
- 中学校区での幼・小・中の連携を推進・充実する。
- 地域の人材・自然・文化の積極的な交流を図る。
- 地域との交流を図り、様々な体験を行う。

- ・県学習到達度調査で、正答数が県平均を上回る。
- ・『フリートーク』の質的向上ができた。 (教師 80 %)
- ・読書を 30 分以上行う。 (児童 80 %)

- ・人権を尊重した学級の仲間づくりが実践できた。 (教師 80 %)
- ・まわりの人に対して思いやりの心をもてるようになってきた。 (児童 80 %)

- ・学校と保護者が情報を共有できた。 (保護者 80 %)
- ・中学校区で連携した取り組みができた。 (教師 80 %)